

# 米づくり情報（NO. 5）

令和5年7月14日

伊万里・西松浦地区農業技術者連絡会作物部会

## 1 気象概況（アメダス観測地：伊万里）

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量		日照時間	
		平年値	本年値	平年値	本年値	平年値	本年値	平年値	本年値	平年値	本年値
		℃	℃	℃	℃	℃	℃	mm	mm	時間	時間
6月	4	22.4	23.8	26.8	29.7	19.0	19.1	67.9	0.0	19.6	42.0
	5	23.1	23.0	27.1	27.3	20.0	20.2	85.9	78.0	16.0	9.4
	6	24.0	26.7	27.7	29.0	21.1	25.0	95.6	157.5	14.1	1.8
7月	1	24.8	25.8	28.4	29.0	22.0	23.3	97.6	111.0	15.6	1.9
	2	25.5	26.9	29.2	29.6	22.6	24.2	84.3	218.5	19.2	11.1
	3	26.1	—	30.0	—	23.1	—	59.0	—	23.5	—
	4	26.7	—	30.9	—	23.5	—	42.4	—	28.3	—

【6月4半旬～7月2半旬の気象概況】

- ・ 気温は、平年と比較して平年並～2.7℃高く推移した。
- ・ 日照時間は、平年より少ない（平年比78%）。
- ・ 降水量は、6月6半旬以降の合計が487mmと非常に多く、平年比175%であった。

## 2 生育状況（7月12日）

項目 品種(設置場所)	年次	草丈 (cm)	莖数 (本/㎡)	主稈出葉数 (L)	葉色 SPAD	概要
夢しずく 6/2 移植 東山代町脇野	本年値	75.8	348	9.7	45.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 草丈は、平年よりやや高い</li> <li>・ 莖数は、平年よりかなり少ない</li> <li>・ 主稈出葉数は平年より少ない</li> <li>・ 葉色は平年より濃い</li> </ul>
	平年値	71.0	391	10.5	43.3	
	平年比	107	89	-0.8	+2.2	
ヒノヒカリ 6/19 移植 松浦町桃川	本年値	36.7	153	7.4	42.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 草丈は、平年並み</li> <li>・ 莖数は、平年よりかなり少ない</li> <li>・ 主稈出葉数は、平年より少ない</li> <li>・ 葉色は平年並み</li> </ul>
	平年値	36.6	288	8.2	42.0	
	平年比	100	53	-0.8	+0.3	
たんぼの夢 6/17 移植 松浦町桃川	本年値	35.5	129	7.6	44.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 草丈は、平年よりやや高い</li> <li>・ 莖数は、平年よりかなり少ない</li> <li>・ 主稈出葉数は、平年より少ない</li> <li>・ 葉色は、平年並み</li> </ul>
	平年値	34.2	270	8.3	44.7	
	平年比	104	48	-0.7	-0.4	

（耕種概要）

- ※ 夢しずくの耕種概要は稲作情報 No.1、ヒノヒカリ・たんぼの夢の耕種概要は稲作情報 No.3 を参照。
- ※ 莖数の本年値（ヒノヒカリ、たんぼの夢）については、栽植密度が平年より小さく、移植後の日照不足、断続的な降雨による深水、ジャンボタニシの食害等により、平年比がかなり小さい。

(参考：平坦部 佐賀県農業試験研究センター 米づくり情報第2号より抜粋)

### 本年産水稻の生育状況 (7月10日)

移植日	項目		草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉齢 L	葉色 SPAD	概況 (平年と比較して)
	品種	年次					
6月19日	夢しずく	本年	36.2	211	7.4	34.8	[気象] 7月2日～9日まで ◆平均気温…平年より0.8℃高い ◆日照時間…短い(平年比 51%) ◆降水量…多い(平年比 256%)  [生育] ◆草丈 「夢しずく」「ヒノヒカリ」は平年並み、「さがびより」はやや低く、「ヒヨクモチ」はやや高い。 ◆茎数 「夢しずく」は平年並み、他の品種は少ない。 ◆葉齢 「夢しずく」「さがびより」は平年並み、「ヒノヒカリ」は遅れており、「ヒヨクモチ」は進んでいる。 ◆葉色(SPAD値) 「ヒヨクモチ」はやや高く、他の品種はやや低い。
		平年	36.3	209	7.5	35.8	
		平年比(差)	100	101	-0.1	-1.0	
	ヒノヒカリ	本年	29.8	204	6.8	35.8	
		平年	29.9	277	7.7	37.5	
		平年比(差)	100	74	-0.9	-1.7	
6月20日	さがびより	本年	30.5	164	7.5	37.2	
		平年	31.5	200	7.5	38.6	
		平年比(差)	97	82	±0	-1.4	
	ヒヨクモチ	本年	29.2	254	8.3	40.0	
		平年	28.5	289	7.7	39.2	
		平年比(差)	102	88	+0.6	+0.8	
留意	○ 根の健全化のため、一旦落水し、土壌へ酸素を供給する。 ○ 落水後は浅水管理とし、茎数確保に努める。 ○ ヒノヒカリ、ヒヨクモチ等の追肥の必要な品種では、時期を逸しないように注意する。						

### 3 今後の管理

#### 1) 山間早植え水稻 (5月上中旬移植)

- すでに穂孕期を迎えている。(5月13日移植-幼穂長 10mm程度 ※5/10時点)
- 穂孕期から穂揃期にかけては、イネの用水要求度が高い時期であるため水がきれることがないように圃場の水管理を徹底する。
- 今後も曇天傾向が予想されるため、「いもち病」や「紋枯病」などの発生に注意する。病斑が確認された場合は速やかに防除を実施する。

#### 2) 普通期水稻「夢しずく」

##### 【6月上旬移植】

- まもなく幼穂形成期を迎える。
- 中干しを終了し間断灌水に移行する。
- 幼穂形成始期(幼穂長 1 ミリ)を迎えた圃場では、下の表を参照し穂肥を施用する。

幼穂形成初期 の草丈(cm)	葉 色		施 用 時 期		穂肥施用量 (kg / 10 a)	
	群 落	SPAD-502	出穂前日数	幼 穂 長	窒素成分量	BB602
	3.0以下	34以下	22~20日前	1 mm	3.0	18 kg
<b>73cm以下</b>	<b>3.0~3.5</b>	<b>38以下</b>	<b>20~18日前</b>	<b>2 mm</b>	<b>3.0</b>	<b>18 kg</b>
	3.5~3.8	38~39	15~14日前	10~15mm	1.5~2.0	10~12kg
	3.8以上	40以上	晩限は止葉抽出終了まで		1.0以下	6 kg
73~79cm	3.0~3.5	34以下	20~18日前	2 mm	1.5~2.0	10~12kg
	3.5~3.8	38~39	15~14日前	10~15mm	1.0	6 kg
	3.8以上	40以上	施 用 し な い			
80cm以上	原 則 と し て 施 用 し な い					

※ 草丈は幼穂の伸長程度より幼穂形成期（幼穂長1mm）を基点に、前後1日当たり1cm増減する。

※ 止葉が抽出し終わった後は施用しない。

※BB602の施用量は栽培ごよみに準じている。

#### 【穂肥診断の方法】

- ①幼穂形成初期頃の草丈を測る。
  - ②葉色（群落・SPAD値）を測る。
  - ③上記①②の測定値を診断指標に当てはめ、施用量を確認する。
  - ④施用量が確認出来たら、記載された施用時期に穂肥を施用できるよう準備する。
- ※穂肥が施用できるのは、葉色が「笹の葉色以下（3.5以下）」になってからである。

#### 【6月中旬移植】

- ・ まもなく中干しの時期を迎える。
- ・ 有効茎（1株当たり20本程度）が確保できた圃場から順次中干しに移行する。
- ・ 中干しは約1週間、土壌表面に軽い亀裂が入り、足跡がわずかにつく程度とし、中干し後は間断灌水を行う。なお、中干しを強めにした圃場（手が入るほどの亀裂がある）では、一端通水し、ならしをしてから間断灌水に移行する。

#### 3) 普通期水稻「たんぼの夢」、「ヒノヒカリ」等

- ・ 分けつ期を迎えている。水管理は浅水管理とし、分けつ促進に努める。
- ・ ガス対策として移植後15日、25日頃は夜干しなどを行い、根の活力を高める。ただし、用水確保が難しい地域では落水せずに湛水状態を保つようにする。
- ・ 移植後の大雨等により、除草剤処理後の水管理が徹底できなかった圃場では、ヒエ、コナギやホタルイ等の雑草の発生が散見される。雑草の発生が多い場合は、中後期除草剤等による防除を検討する。

#### 4) 共通

○病害虫防除

(いもち病)

- 7月13日までのBLASTAM情報(気象条件のみによって葉いもちの発生を予測するシステム)によると、伊万里では6月8日、11日に葉いもちの感染好適条件が観測されている(好適条件が観測された1週間後に初発生や病斑数の急激な増加が予想される)。今後発生状況に注意し、進展型病斑が確認された圃場では、オリブライト粒剤等で速やかに防除を行う。
- 圃場内に放置されている補植苗は「いもち病」の温床になるためすみやかに除去する。



いもち病進展型病斑

(ウンカ類)

- 6/30~7/11にかけてトビイロウンカの飛来が確認されている。  
(最新情報は佐賀県農業技術防除センターのホームページを参照すること)
- 移植時期や圃場の場所等によっても発生量が異なるため、圃場の発生状況を確認しながら防除時期を検討する。

#### 【西松浦農業振興センター、ウンカ類調査結果(25株はらい落とし)】

品種	地域	移植日	トビイロウンカ		セジロウンカ		ヒメトビウンカ		調査日
			成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	
夢しずく	東山代	6/2	0	0	2	1	1	0	7/12
	黒川	5/27	0	0	3	0	0	0	7/7

ウンカ類のトラップ捕獲状況（2023年7月13日更新）

月	日	トビイロウンカ					セジロウンカ				
		佐賀県		長崎県			佐賀県		長崎県		
		佐賀市 ネット トラップ	嬉野市 ライト トラップ	諫早市 ライト トラップ	諫早市 ネット トラップA	諫早市 ネット トラップB	佐賀市 ネット トラップ	嬉野市 ライト トラップ	諫早市 ライト トラップ	諫早市 ネット トラップA	諫早市 ネット トラップB
5月	22日	0		0	0	0	0		0	0	0
	23日	0		0	0	0	0		0	0	0
	24日	0		0	0	0	0		0	0	0
	25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	17日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	21日	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0
	22日	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	23日	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0
	24日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	27日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	28日	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	29日	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
	30日	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
7月	1日	0	12	0	0	0	0	70	1	0	0
	2日	0	0	0	0	0	0	58	0	0	0
	3日	0	15	0	0	0	0	75	0	0	0
	4日	0	4	0	0	0	0	13	19	0	0
	5日	0	19	0	0	0	1	23	31	0	0
	6日	0	3	0	0	0	0	43	0	2	0
	7日	0	4	0	0	0	2	6	0	4	0
	8日	0	14	0	0	0	0	14	1	0	0
	9日	0	3	0	0	0	1	16	6	1	0
	10日	0	0	1	1	0	0	15		0	0
	11日		2		0	0		10		0	0
	12日										
	13日										
	14日										

# 令和5年産水稻生育期間気象グラフ（アメダス：伊万里）

西松浦農業振興センター

